Komifloオリジナル
僕のひかり
Presented by
ねこ電力

ここは逢魔ヶ原
魔界と人間界の
あいだの街

とはいえここは
人間界と基本的には
変わりがない

愛だって悦びだって
憎しみだってなんだって
人間だけの世の中と
変わらなかった

種族が違っても
得意なことが違うだけ

違う種族間でも
僕のパパママのように
子を成すものも居た

お兄ちゃんは人間
僕はインキュバス
この世に生を受けた

インキュバスとしての
能力を持っていること
それ以外は普通の学生
お兄ちゃんとも
ずっと仲良しだった

ヤダヤダ！ 僕も
これ絶対欲しいの！

でも僕はお兄ちゃんの
持っているものをなんでも
欲しがりママを困らせた

もー仕方ないわね…

…

ありがとう

ママは見かねて僕にも
お兄ちゃんと同じものを
買い与えてくれた

それでも物足りなさを
覚えていた小学六年生の冬——

朝陽ー ちょっといいか？
俺の彼女のミサキ！ 朝陽には紹介しときたくて…
初めまして よろしくね！
その瞬間股間が突然熱くなって 甘いニオイが自分の身体から 出たのが分かった
…よろしく！
コレも欲しい――そう思ってしまった
ってこんな時にバイトの呼出かよ…
ごめん 二人で遊んでて！
ピロン♪ ピロン♪
行ってらっしゃーい
……
…朝陽くん なんか…すごく… 身体が熱くて変なの どうしたらいいのかな…
ゼクン

ここで僕は昔パパに教えてもらったインキュバスの力について思い出した

ゴクリ

1 勃起するとき出るフェロモンを女性に嗅がせるとエッチな気分に出来る

2 じっと想いを込めて女性を見つめると僕のことを好きにさせることが出来る

3 爪で下腹部の肌に軽く傷をつけ淫紋を刻めば感度が数十倍となり虜にできる

4 夢の中に入ることができそこでは現実にありえないようなエッチな体験を女性にさせてあげられる

5 精液を飲ませれば飲ませる程僕のことしか考えられなくなってしまう

この子をゲットするには今しかない――！

人生で初めてインキュバスとしての能力を発動した瞬間だった

ミサキさん…僕の目を見て

えっ…？

きょとん

ドクン

そして僕らは
兄が帰ってくる前に
互いを貪り合った

ぁっ♡ぁっ♡

ぢゅ♡

もうちょっと
上…♡

ここ…？

ぴと

ぁっ

ずず

ずず

エッチは初めて
だったけれど
本能で腰を打ち付け

ぁっ♡

くぃっ♡

ぱん

ぱん

ぢっ

ぢっ

彼女の最奥に
たっぷり精液を呑ませて
あげたのだった

ぁっ♡

ぶびゅ

ーっ♡

ぁっ♡

この件の後 しばらくしたら
お兄ちゃんは振られていた

好きな人が
出来たって
まあ僕のことなんだけど

お兄ちゃんの悲しむ顔を
見た僕は今まで感じてきた
物足りなさが解消されて
いくのを感じた

それからもお兄ちゃん
とは仲良しなままで
お兄ちゃんは社会人に
僕は大学生になって
それぞれ独り暮らしを始めた

朝陽！お前に紹介したい人が居るんだ

いらっしゃい

あれ お兄ちゃん 突然来たと思ったらまたそれ？

どうせまたすぐ別れるでしょ～！

うっせ！ 今回の彼女とは結婚を前提に付き合ったんだよ！

ほらほら ひかり 来て！

だはー

初めまして 夕陽さんとお付き合いさせていただいています 馬場ひかりです

これも欲しい！ そう思った僕は早速いつものように落としにかかった

あどーも 初めまして♪

ま 今日は近く
通ったついでに紹介だけ
したかったんだよ
俺らちょっと
このまま帰るわ！
またゆっくり遊ぼうな
あ ちょっと待って
ひかりさん！
前髪に糸くず
ついてるよ
あ ありがと——
ぱー
う——
ドキ
ドキ
ひかり じゃあ
そろそろいこっか
じゃーね
それじゃあまた
……
ぱたん

また今回も――
頑張りますか！

いけないことだって
分かってるけれど――

どうしても
今朝陽くんに
会いに行きたい

あの胸の高鳴り
まるで恋のようで――

やっほーひかりさん
僕も君に会いたくて
仕方がないよ

えなに
ここどこ…!?

ひかりさんの白昼夢
その中だよ！

僕に今から会いに
来てくれたら――

やっなにこれ…！

…コレよりキモチイイこと
してあげよっかな？

ごごめん夕陽くん
イヤホン朝陽くんの
家におとしてきたっぽい…
あーまじか
取って来なよ！
俺先に家行ってるよ
はっ
あまり遅くなんなよー
暗くなってからだと
危ないからな！
あの その…
もじ
ううん
もじ
あ ひかりさん！
来てくれると
思ってたよ
ガチャ

えっち しよっか
コクン
ひかりさん…
んっ…
うっん
あ…

あっ…ん♡
あっ♡
ぎゅ
ぎゅ
だっ…あ
だっ…あ♡
あ♡
ゼロリンク
ゼク
……夕陽さんからだ
でもでも…やっぱホントはいけないことだよ…！
今はお兄ちゃんじゃなくて僕を見て
ふーん？

でもこんなんじゃお兄ちゃんのとこ帰れないよね？
ブラ…
それに…
飛び切り気持ちよくしてあげるから…ね？
!!
ダメ――もう朝陽くんの入れて欲しい…♡

あれ？
初めてだったの？
……
まじー？
チョー嬉しい……
もちろんっ！

ビクン
グニュ
いいよ 好きなだけ
イっていいよ♪

夕陽さんっ……
ごめんなさい…♡
ごめんなさい…！
はっ♡
はー♡

うーん 身体はもう 堕ちたっぽいけれど

まだお兄ちゃんのこと 考える余裕あった みたいだなあー…

ぱたぱた

ティン!

あっそうだ! あの手を使うか…

うーーん…

ひかりさん

…かりさん

ひかりさん てば!

あれ 朝陽くん…?

やっほー遊びに 来ちゃった

ぱたっ

イイコトして… 遊ぼ?

良いこと?

例えば…

こんなこととか

えっ なにっなにこれっ 触手?!

感度がいつもの10倍に感じる魔法とか――

こんなのあり得ないっ…!

どういうことっあっ

大丈夫これぜーんぶ夢なんだから

だからっ
安心していっぱ〜い気持ちよくなっていいからね♪
こりぇだめっ♡おかしくなるっ…！
ねえひかりさん…

僕のおちんちんも気持ちよくして？
うんっ…♡
口と乳首とおま○ことお尻全部同時に犯されて――

ぎちっ
ぎちっ
ぎちっ♡
ぎちっ♡
こんなの――
おかしくなるっ…♡
くぷっ
あーーー出るっ
出るよっ
くぷっ
ぴゅ
はーっ♡
はーっ♡
くろぃ♡
ぴゅ

もう…他のことなんてどうでもいいや…♡
チュン…
チュン…
朝陽くん…♡

久々のお休みだから来ちゃった…♡
そんな刺激的な恰好で来て…もお…
てかお兄ちゃんと遊ばないの？
もうあんなのいいの…♡朝陽くんとずっとエッチしてたい…
あーあ！お兄ちゃんかわいそw
もう別れたもん…
マジ!?やった！

そんなの良いから
早く…早く入れて…
お願い…！
どうしよっかな～
なんてねっ
ひかりさんは
もう僕のだからね

なかっ
また中出すよっ

出してっ……♡
奥いっぱい……♡

僕の…
僕のひかり…

久々に家来てみれば
お兄ちゃんなんで
そんな落ち込んでるの？

いや～ちょっと…
また振られちゃって

だから
言ったじゃん！

最初はすごい
いい感じだった
んだって！

ったく…
ん？

ぶるぶる

あーごめん
呼び出されちった

ねえ まだー？

えーっ
薄情な！

また今度
残念会やろうねん♪

みんな
おっまたせー！

やはー

ばーーーん

モー遅いよお！

ぷぷぷ

ごめんごめんw

朝陽くん♡
早くエッチしよ♡

もっちろん♪

僕のひかりK完